

2. 丹波の恵みを活かした食文化の継承・地産地消の推進

1) 地産地消の推進

(1) 楽農生活の推進

番号	事業名等	事業概要(内容)	担当課	令和2年度以降の予定 (R2.1現在)		令和2年度進捗状況	
				方向性	取組方法等	状況	取組方法等
①	交流事業(体験農園・市民農園)の推進	●農村の活性化と都市部との交流をめざし、リーダーとなる人材の育成や都市部住民との交流を深めながら「丹波ファン」の創出を図ります	農業振興課	廃止			
②	農家レストラン、農家民宿	●都市部住民が余暇サービスの提供を受けることで農家の生活を体験でき、「丹波ファン」を獲得すると同時に農家所得の向上を図ります。	農業振興課	継続	●丹波ファンの獲得並びに農家所得の向上のため、民泊を推進する。	予定通り実施	●丹波ファンの獲得並びに農家所得の向上のため、民泊を推進している
③	「農」からの食文化と食育の推進	●伝統的な「農」と「食文化」を継承していくために、土づくりを基本とする安全・安心な農産物の生産・供給体制の構築と各地域の人材育成を図ります。	農業振興課	継続	●引続き、環境創造型農業の推進と畜産環境対策として、有機質堆肥の投入による土づくりを実践する者への支援をし人材育成を図る。	予定通り実施	●環境創造型農業の推進と畜産環境対策として、有機質堆肥の投入による土づくりを実践する者への支援をし、人材育成を図っている。

(2) 直売所等への支援

番号	事業名等	事業概要(内容)	担当課	令和2年度以降の予定 (R2.1現在)		令和2年度進捗状況	
				方向性	取組方法等	状況	取組方法等
①	地域直売所整備促進事業(直売施設等整備事業)	●生産者で構成されている組織等に、兵庫県産農産物の直売活動に必要な簡易施設及び備品の整備費等を支援し、地産地消を推進します。	農業振興課	継続	●継続して市内直売所に事業紹介をする。	予定通り実施	●市内直売所に事業紹介をする。

(3) 米、野菜等地元食材を生かした取り組み

番号	事業名等	事業概要(内容)	担当課	令和2年度以降の予定 (R2.1 現在)		令和2年度進捗状況	
				方向性	取組方法等	状況	取組方法等
①	ごはんを中心とした日本型食生活の推進(おいしいごはんを食べよう)	●お米やごはんの大切さを伝え、みそ汁に地元農産物を活用した具たくさんみそ汁をつくる取り組みを推進します。	健康課	継続	●ご飯食を中心とした健康的な日本型の食生活の実践を目指した健康教育、食育教室の実施	縮小実施	食育教室、健康教室において日本型食生活を啓発自粛等により教室実施回数は減
			学事課	継続	●毎月1回『食育の日』を設定し、和食の献立を提供することで和食の良さを伝える。 ●また、スクールランチの学校給食週間号として、地元の特産物や地産地消、丹波市産食材を使用したレシピを配布予定。	予定通り実施	・毎月1回、食育の日献立を設定。ご飯を中心とした献立で、和食の良さを伝える。 ・今年度のスクールランチ学校給食週間号では、丹波市の食材を使ったメニューのレシピを掲載し、児童・生徒へ配布予定。
		●お米やごはんを通じて、「将来の食糧確保」、「健康的な食生活」、「環境を守る」、「危機管理」をPRします。	農業振興課	継続	●継続して窓口等でPRを実施する。	予定通り実施	・窓口等でPRを実施する。
③	認定こども園給食における地場産物の活用	●各園において、地域で作られた食材をできる限り使用し、子ども達の豊かな味覚を育む給食づくりの取り組みを推進します。	子育て支援課	継続	●今後も継続的に実施を促進する。	予定通り実施	・継続的に実施を促進していく。
③	魅力ある丹波産食材支援事業	●全国学校給食週間にシカ肉を使ったメニューを提供し、子どもたちにシカ肉に慣れ親しんでもらう取り組みを推進します。	農業振興課	継続	●給食センターと調整しながら、小中学校給食メニューにシカ肉やしし肉を取り入れる。	予定通り実施	・給食センターやシカ加工組合と調整しながら、小中学校給食メニューにシカ肉やしし肉を取り入れる予定。 ・10月に打ち合わせ予定。
④	丹波市学校給食用農産物生産者組織連絡協議会	●学校給食用農産物の生産・出荷促進、供給者間の連絡調整をすることにより、安定した地元農産物の提供・地産地消の推進を図ります。	農業振興課	継続	●協議会で作成された生産者の生産物のチェック表を有効活用する。	予定通り実施	・協議会で作成された生産者の生産物のチェック表を有効活用する。
⑤	丹波市有機の里づくり推進協議会	●環境に優しい有機農業および環境創造型農業を確立するための講習会を実施し、技術の向上を図り、有機農業への転換や新規参入者の受け入れ体制を整備し、有機農業の促進や普及啓発を図ります。	農業振興課	継続	●講演会の開催など、有機農業の促進や普及啓発を図る。	予定通り実施	・後援会の開催など、有機農業の促進や普及啓発を図る。

2) 食と「農」への理解促進

(1) 生産収穫体験および栽培体験による教育

番号	事業名等	事業概要(内容)	担当課	令和2年度以降の予定 (R2.1現在)		令和2年度進捗状況	
				方向性	取組方法等	状況	取組方法等
①	健やかな食育事業	●こども園等で、地域の自然と触れ合い、作物等の栽培や収穫からクッキングなどで、地域の食材に触れる体験を実施します。	子育て支援課	継続	●栽培から収穫まで体験することで、食べる事への意欲につながるような取組みを実施する。	その他	・感染予防対策に留意し、各園の状況に応じた取組みを実施している。
②	生産収穫体験	●子育てグループに対し、さつま芋の苗の植え付け、黒豆の種まき等の栽培から収穫体験、収穫祭、収穫物を季節行事食に利用する調理実習を開催できるよう支援します。	子育て支援課	継続	●参加者に、栽培から収穫、調理実習までの一連の流れをとおり、喜んでもらえる体験を提供する。	その他	・野外活動は実施。喫食する際は距離を保つ指導をしている。
③	食に関する指導 (栽培・収穫体験) による食育活動の実施	●学校・園の学級園や農園を利用した栽培活動による教育活動を実施します、	学校教育課	継続	●栽培、収穫活動による食育活動を実施し、食育活動の充実を図る。	その他	・感染予防対策を徹底し、活動内容を十分に検討した上で、各校の状況に応じた取組を行っている。 ※例年6月に行っていた調査を延期しているため(10月に調査予定)、全校の具体的な取組内容についての把握は、2学期末となる。

3) 食文化の継承

(1) 家庭の味・食文化や郷土料理を伝える取組み

番号	事業名等	事業概要(内容)	担当課	令和2年度以降の予定 (R2.1現在)		令和2年度進捗状況	
				方向性	取組方法等	状況	取組方法等
①	行事食・郷土料理教室	●旬の食材を使った料理や行事食、伝統食を学ぶ料理教室などを開催します。 ①と③は一部重複記載	健康課 いずみ会	継続	●子育て世代を対象に、行事食を中心に旬の食材を使った料理教室を実施する	縮小実施	・子育て学習センターとのコラボ実施 ・参加人数を制限したり、簡易なレシピに変更して一部実施予定あり
②	中学生食育教室 (再掲)	●中学2年生を対象に、講話と大納言小豆や旬の野菜を使ったバランスの良い和食を調理する体験型教室を実施します。	農業振興課 健康課 いずみ会	継続	●ご飯とみそ汁を中心とした健康的な和食1食分を調理体験し、基本的な料理技術の取得を目指す。	縮小実施	・秋以降に実施予定の学校あり ・中止決定の学校あり ・調理実習中止の場合は、食育アンケートと資料配布
③	郷土料理教室	●旬の食材を使った料理や行事食、伝統食を学ぶ料理教室を開催します。	子育て支援課	継続	●いずみ会や子育て支援グループ等と連携し実施していく	その他	・上記①同様。

取組み柱2

④	給食での郷土料理等の導入、理解促進	●学校給食等において、郷土料理や和食を中心としたメニューを提供します。	学事課	継続	●大納言小豆を使用した献立（11月・2月） ●黒豆を使用した枝豆（10月） ●しし肉を使用したぼたん汁（1月）	予定通り実施	・丹波の黒豆の枝豆や栗を使用した献立の提供（10月） ・大納言小豆を使用した献立（11月・12月・2月） ・しし肉を使用したぼたん汁（1月）
⑤	健やかな食育事業（再）	●各園で、餅つきなど世代間交流を実施します。	子育て支援課	継続		その他	・感染予防に留意しながら、各園で方法を模索。
⑥	給食での行事食の提供	●各園の給食等において、季節感を取り入れた献立を取り入れます。	各園	継続		予定通り実施	

(2) 食資源を活かした産業振興（特産物を活用した取組み 他）

番号	事業名等	事業概要(内容)	担当課	令和2年度以降の予定（R2.1現在）		令和元年度の取組み	
				方向性	取組方法等	状況	取組方法等
①	丹波大納言小豆を使ったぜんざいフェア	●丹波市の地域財産である「大納言小豆」を丹波市内外に広く伝えます。	農業振興課	継続	●課題を踏まえ、関係機関と協議しながら情報発信を行う。	予定通り実施	・例年どおり、令和2年11月3日（火）～令和3年2月18日（木）開催。市内約30店舗が参加予定。 ・兵庫県の「【新型コロナウイルス関連】業種ごとの感染拡大予防ガイドライン」を遵守する。新型コロナウイルス感染症にかかる緊急事態宣言により中止する場合がある。
②	丹波大納言小豆を使った学校給食	●丹波市の地域財産である「大納言小豆」を未来の子どもたちに伝えることで、魅力や誇りを感じてもらえるようにします。	農業振興課	継続	●給食センターと調整しながら、丹波大納言小豆を市内の小中学校の給食メニューに取り入れ、味わってもらうことで大納言小豆の良さを伝える機会をつくる。	予定通り実施	・給食に3回取り入れてもらう（11月・12月・2月） 同時に行っていた生産者またはJAとの給食交流は、コロナ感染症対策のため自粛。
③	都市との交流	●兵庫みどり公社「ひょうご楽農生活センター」のHPでグリーン・ツーリズムバス（都市農村交流バス）の紹介、情報提供を行います。	農業振興課	継続	●継続し、情報発信を行う。	予定通り実施	・窓口でPRを実施する。
④	特産情報発信事業	●丹波市の特産食材である有機野菜や新たなシカ肉等を、安全ヘルシー食材として観光にも活用できるよう情報発信します。	観光課	継続	●左の課題を踏まえつつ、効果的な情報発信を行う。		
⑤	丹波市スイーツフェスティバル	●スターコンテンツを活用し、食品開発での成果発表の場として、フェスティバルを開催します。	観光課	継続	●左の課題を踏まえつつ、引き続き実施する。	中止	
⑥	丹の里・丹波市「味覚フェア」たんぱルシェ2019	●旬の丹波の食材を一堂に集めて、一大発信イベントとします。	農業振興課	継続	●関係機関と連携を図り、丹波市産農産物の魅力をPRする機会にする。	中止	・5月・10月は中止 ・1月も中止の方向で検討中